

岐阜県職員 採用試験



新設

大学卒程度司書採用試験

司書の採用試験について、**大学卒程度区分の試験が新設**されました。

短大・高校卒程度区分の司書採用試験は秋に実施されていますが、
行政職などの大学卒程度区分の試験は、例年、春～夏にかけて実施されています。
令和8年度に大学卒程度区分の司書採用試験が実施されるかは、
令和8年度4月（予定）の試験案内の公示をご確認ください。

■ 募集職種

司書（司書資格を有する又は資格取得見込みの方）

■ 年齢要件

試験実施年度の4月1日時点で21歳から28歳までの方

第1次 試験	教養試験	五肢択一 50 題【マークシート】
	専門試験	記述式
	論文試験	
第2次 試験	口述試験	個別面接
	集団討論試験	
	適性検査	

■ お問い合わせ

岐阜県人事委員会事務局

TEL：058-272-8796

Mail:c13201@pref.gifu.lg.jp

岐阜県職員
採用情報



Interview

現在の仕事内容と一番印象に残っている仕事を教えてください。

主に県内公共図書館などの支援業務を担当しています。他館の運営状況を把握し、情報交換や情報提供を行う中、時には相談を受けることもあります。また、ビジネス支援サービス業務も担当しており、各業種の関係団体と連携した事業開催や関連する図書を紹介することで、利用者の課題解決の支援にも取り組んでいます。一番印象に残っている仕事は、コロナ禍での学校図書館勤務のときに、長期休校等により、生徒の図書館を利用する機会が減少したため図書館PRに力を入れたことです。図書館だよりの発行はもちろん、教員・図書委員と協力し、オススメ本の展示・POP作成、「本の福袋」等イベントを開催するなど、とてもやりがいのある仕事でした。

岐阜県図書館 田中さん



岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

多種多様な仕事を経験できることです。学校図書館では、本の貸出・返却以外にも、所蔵する資料の選書業務や、図書委員会の運営等があります。岐阜県図書館では、本の貸出・返却や選書業務のほか、「ブックトーク」等イベントの企画運営業務も担当しています。様々な仕事を経験することは必ず自身の力になります。現在も新しい仕事に積極的に関わっていくようにしています。

Message

県民の知的好奇心に応えます。

子どもの頃から読書が好きでしたが、年齢を重ねるにつれて、より専門的な知識や世界を広げてくれる書物の奥深さに興味を持ち、図書館で働きたいと思うようになりました。現在は、郷土・地図情報係の一員として、岐阜県にまつわるさまざまな資料や情報を扱う仕事をしています。レファレンス（調べもの相談）業務では、ローカルで複雑な内容の質問を受けることが多く、調査を通して、岐阜県や郷土資料に関する知識が増えていくことにやりがいを感じています。図書館へ来て、司書に相談してみてもよかった、と思っていただくことが目標です。

岐阜県図書館 江口さん



とある日の 1日の業務の流れ

岐阜県図書館児童サービス担当の場合

9:00

おはなし会打ち合わせ
書架整理、
出勤、開館準備、

10:00

児童資料の選書

11:00

片付け
おはなし会、反省会、

12:00

昼休み

13:00

出前講座の準備

14:00

児童イベントの準備

15:00

電話レファレンス・
問い合わせ対応

16:00

窓口対応
児童レファレンス

17:45

退勤